商工だより

No.31 新春号

みんなで伸ばすみんなの会議所



奈良商工会議所

謹賀新年

関西電力(株)奈良支店

支店長　高村栄一

奈良市大森町48　TEL 奈良㉑1201(代)

自動電気温水器

1日たっぷり使って15円

ハイホット

Hi-Hot

自動電気温水器

電気でひらく明るいくらし

みなさまの 関西電力

いすゞ

いすゞ ベレット



奈良市大安寺町1204の1

奈良いすゞ自動車株式会社

TEL ㉒ 1121(大代表)

TOYOGLIDE

ワイドセレクション



高級車から実用車まで
お好みで選べる
トヨペットクラウン

室内装備など322種にのぼる
豊富なバリエーションです。

トヨペット クラウン デラックス

トヨペット コロナバン デラックス 1500cc



洗練されたスタイルが魅力
乗用車なみの装備が魅力
高性能のエンジンが魅力

御試乗又は車に関するお問い合せは

生産・販売・輸出 トヨタ 第1位

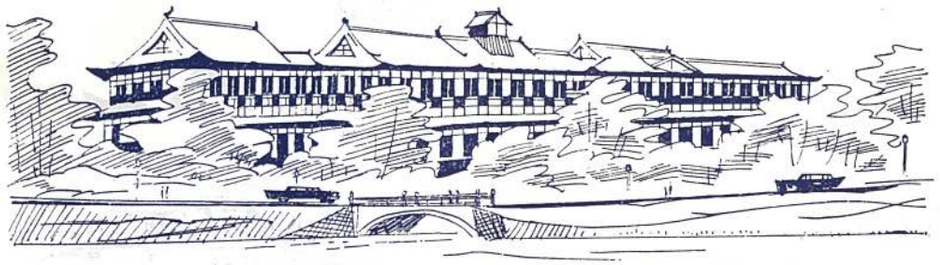
奈良トヨタ自動車株式会社

奈良市杉ヶ町30番地
電話奈良 ㉒ 1151番(大代表)

高田営業所　大和高田市神楽67の1
電話 大和高田 ② 5501～4番

賀　正　1967

会頭	大森久司	副会頭	河合利喜蔵	副会頭	小山榮三郎	専務理事	中村貞三
	近畿電気工事㈱社長（参議院議員）		㈱ひのり商店社長		小山㈱社長		奈良商工会議所
常議員	垣内寛一	常議員	菊池武三郎	常議員	近東弘七	常議員	小山恭二
	㈱垣内商会社長		奈良トヨタ自動車㈱社長		共同精版印刷㈱社長		小山㈱副社長
常議員	末広徳治郎	常議員	高橋公男	常議員	谷井友三郎	常議員	富田富治
	㈲末広洋服店代表社員		奈良交通㈱社長		谷井興業㈱社長		奈良敷物㈱社長
常議員	細田義雄	常議員	春田明次	常議員	野村萬作	常議員	阪田冨三郎
	㈱天義堂社長		春田工業㈱社長		㈱三栄相互銀行社長		㈲いろは旅館代表社員
常議員	下出久治郎	常議員	阪本善雄	常議員	今西清兵衛	常議員	乾太郎
	㈱下出商会社長		㈲常磐代表社員		㈱今西清兵衛商店社長		㈲奈良明新社代表社員
常議員	亀田源治郎						
	㈱南都銀行頭取						



（株）都ホテル経営

都ホテルチェーン

奈良ホテル

奈良公園　電話（奈良）㉓—4101

テレックス：5522—108

賀正 1967

常議員 松岡太郎 三笠物産㈱社長
常議員 吉川晃 奈良吉川産業㈱専務取締役
常議員 綿谷仙治郎 ㈱呉竹精昇堂会長
監事 杉山嘉一 杉山繊維工業㈱社長
監事 橋本蔵治 ㈱橋本商店社長
監事 奥田由三 奥田布帛㈱
議員 滝本宏 奈良いすゞ自動車㈱社長

議員 荒木直三郎 ㈱あらき商店社長
議員 稲田安功 ㈱稲田商店社長
議員 臼井明 光学堂時計眼鏡店代表者
議員 植田元紹 ㈱日本交通公社奈良営業所長
議員 大東善治 大和観光㈱社長
議員 岡本榮一 岡本友芳軒代表者

議員 奥田龍夫 奈良県竹材工業㈱社長
議員 尾田利一 ㈱尾田組社長
議員 越智岩太郎 日本染織工業㈱社長
議員 鍵田忠三郎 スペインメロン㈱社長
議員 金島二郎 日本通運㈱奈良支店長
議員 川合弘 ㈾川合商店代表社員
議員 上林安彦 上林化学㈱社長

議員 岸井英夫 近畿電気工事㈱奈良支店長
議員 北浦静夫 キタウラ代表者
議員 小林茂市 三和住宅㈱社長
議員 今来勝 ㈾寿屋代表社員
議員 杉本勝彦 奈良近鉄タクシー㈱社長
議員 杉本甚七 ㈱北辰電機製作所奈良工場代表者
議員 高村榮一 関西電力㈱奈良支店長

議員 田中亀吉 ㈲森永食堂代表社員
議員 谷口貞次郎 ㈱九重社長
議員 土井博治 ㈱マツダオート奈良専務取締役
議員 豊沢儀雄 奈良豊沢酒造㈱社長
議員 冨森光弘 奈良市信用金庫理事長
議員 中尾政雄 中尾蚊帳本店代表者
議員 中桐香 帝産自動車㈱常務取締役

議員 中山重幸 ㈱日本勧業銀行奈良支店長
議員 南口豊治 ㈱南口商会々長
議員 西田誠宏 あしびや本舗代表者
議員 南畝泰一郎 ㈱梅花堂社長
議員 橋村嘉郎 橋村商店代表者
議員 平井龍一 ㈱平井真美館社長
議員 平尾直一 奈良近畿日産自動車㈱社長



（大森会頭筆）

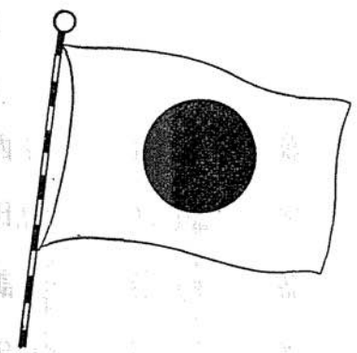
《目　　次》

〔年頭の辞〕
会　頭　大　森　久　司……2
知　事　奥　田　良　三……3
市　長　高　椋　正　次……4
日商会頭　足　立　　正……5
新　年　に　思　う……7
私　の　正　月……9
昭和42年を迎えて
創立20周年記念式盛大に挙行さる……11
＜会議所の動き＞**資本自由化懇談会ひらく**……12
昭和41年度事業報告……14
＜講演＞　現下の中小企業をとりまく諸問題
京大助教授　鎌　倉　　昇…16
年末金融懇談会を開催……18
＜評論＞　今年の景気を決するもの……武　村　忠　雄…19
商店サービスコンクール……21
＜座談会＞　消費者の声を聞く……22
＜お知らせ＞　労災保事務組合、失業保事務組合……24
中小企業相談所……25
小売物価動向表……26
取　引　照　会……27
巡回スライド案内……28

賀　正　1967

議員 平岡孝太郎 平岡紙器工業㈱社長	議員 藤田三郎 幸信産業㈱社長	議員 堀　鉱一郎 ㈱近畿建材社長	議員 前田耕哉 ㈱前田陶器店社長	議員 増田義一 ㈱増田商店社長	議員 三岡嘉三郎 三岡商事㈱社長	議員 水谷嘉六 ㈱あかしや商店社長
議員 八尾喜司雄 ㈱三山旅館社長	議員 吉田淳一 ㈱吉田商店社長	議員 吉村四良 大阪屋証券㈱奈良支店長	職員一同		奈良商工会議所	

人類の進歩と調和



万国博を成功させましょう



昭和四十二年を迎えて

奈良商工会議所
会頭　大森久司

昭和四十二年の新春を迎え皆様と共に謹んでお慶び申し上げます。

さて昨年の我が国経済は、戦後最大の不況から、真剣な打開策への努力と政府の積極的な財政策、金融緩和策を基盤としてまた引続く輸出の好調等によって生産、出荷等の指標に示されている様な景気の上昇過程を辿っていることは誠に喜ばしいことであります。

しかしながら一方、資本取引の自由化は我が国の生産力からして当然とは云いながら、ＯＥＣＤ加盟諸国からその促進について強く要請せられ、日本経済は新たな国際競争の試練を迫られることになり、他方すでに労働力過剰経済から労働力不足経済への移行ということが構造変化の大きな要因となって横たわっており、こゝに於て日本経済は大きな転期に直面しております。

この様な情勢の中で我々産業人は新しい年を迎えることになったわけでありますが、本年こそ、我々産業人は、内外の情勢に即応した構造改善対策を中心とした近代化、合理化を強力に推し進めることこそ緊急の課題であると認識を深く致すべきであると存じます。

一方地域開発問題と関連しての万国博、足下の問題としての近鉄地下乗入れ、西奈良住宅開発に対しても意をそそぎ、内部的には、中小企業の当面する諸問題の研究にも積極的に取り組み、綜合経済団体としての商工会議所の本来の使命である地域経済の発展に皆様と共に寄与致して参り度いと存じます。

年頭に当り旧に倍する御支援と御鞭撻をお願い致しまして新年の御挨拶と致します。



年頭の辞

奈良県知事　奥田良三

昭和四十二年の新春を迎え、お慶びを申しあげます。

平素は関係の皆様方が商工会議所を中心として力をあわせ、業界の発展並びに地域社会の向上に御努力されていることに対し衷心より敬意を表するとともに感謝申しあげます。

現下の日本経済は不況からやゝ回復のきざしが見えてきたとはいえ、中小企業にあっては、その倒産件数は、不況期を上廻わって上昇傾向をたどっており、今後、なお、中小企業をとりまく経済的社会的環境はきびしいものがあります。すなわち、労働力のひっ迫、市場条件や需要構造の変化、技術革新の進展等、いずれも困難な問題が、複雑にからみあって中小企業の前途に横たわっております。

このような期にあたって、県におきましては、本年は、皆様方の自主的な企業努力を前提しつつ経営の合理化、設備の近代化を推進すると共に中小企業の直面する隘路打開のために金融の円滑化、国内外への販路開拓、労働力の確保等に積極的な施策を講ずる所存であります。

また、昭和四十五年に大阪で開催される万国博覧会に対処するため、さきに県に万国博覧会対策委員会を設置し、関係有識者の御意見を承り関連公共事業や内外観光客の受入体制の整備に万全を期しているのであります。

年頭にあたり奈良商工会議所の御発展と、会員各位の御隆昌を心より祈念する次第であります。



年頭の辞

奈良市長　高椋正次

昭和四十二年の新年を迎え謹んで御祝詞を申し上げます。

昨年を顧みますと、こゝ数年にわたり沈滞をつづけて来ました経済界も国債発行など経済刺戟政策の影響もあって、昨年後半期より景気回復のきざしが見えて来ましたことは、奈良市経済界に密接な関係にある各位にとって誠によろこばしいことでございます。

又昭和四十五年に開催される万国博に関連して施工される公共事業等が、本年から本格的に着手されるに従って、近畿経済圏にも好影響を与えるものと考えられ、この意味におきまして昭和四十二年は誠に期待できる年であると信ずるところでございます。

さて、すでに御承知のとおり、現在小規模事業のおかれている立場は非常に困難なものがあると考えております。小規模事業の体質的な弱さは労働力不足により誠に深刻なものがあるといわれており、国においても、本年は中小企業振興事業団の設立により小規模事業の近代化を更に促進する計画をもっておられるようで、この国の諸施策の積極的な利用をはかることが望まれるわけでございます。

奈良市としても市独自の融資制度の活用をはじめ、市特産品のあっ旋、又観光都市として県外への宣伝、更に本年は国連総会で決議された国際観光年でもあり、観光を通して国の交流をはかる好機会でもあるので、国際観光都市としての行政指導も重要であると考えております。

一方最近では、経済安定成長政策に関連して物価抑制について非常に関心が高まっており、物価問題も地方自治体において真剣に取り組まなければならない状態となっております。特に当市は大阪の近郊都市として住宅地開発が進められておりますので、消費物資の流通機構問題も将来考えなければならないことであると思われます。

これら諸問題の解決には、いずれにしても本市商工業にたずさわる各位の熱意ある御協力にまたなければならないので、今後共一層の御支援をおねがいして御挨拶とする次第でございます。

所感

日本商工会議所
東京商工会議所
会頭　足立正

そういえば、わが国の近代化への開幕となった明治維新から数えて、どうやら百年に近くなろうとしている。ひとしお感慨を覚えるわけである。

この間に、わが国は世界有数の先進工業国の一つに列するようになった。

過ぎ去った百年を顧みると、戦争と戦争の谷間を縫って迂余曲折を経ながらも遂にここまできたという感じを禁じえない。これは、もちろん日本民族が優秀だからであり、国民の勤勉と努力の成果が見事に花を開いたものと思うが、このような日本民族の活力は、教育の普及と西欧の産業や文化への門戸開放によってもたらされ、徳川二百数十年の鎖国下で鬱積していたエネルギーが一挙にほとばしり出たという感じがいたすのである。

それにしても、日本の近代化は外国が二百年、三百年もかかって行なったことを駆け足で進めてきたために、一面では政治をはじめ産業、社会、文化の各方面に多くのひずみやアンバランスを残すこととなった。

それは、第二次世界大戦後のめざましい経済成長によってもなお解消にはほど遠い大きな課題としてわれわれの前に横たわっている。造船、鉄鋼、合成繊維、石油化学など、世界に誇るような先進的な工業部門を持っているかと思えば、一方では生産性の異常に低い多数の農業経営や中小企業の存在などの事実は、そのもっとも顕著なコントラストの一端を示すものである。農業や中小企業の近代化が、現代日本のもっとも重要な課題の一つとなっているのも決して偶然ではあるまい。

われわれは、工業国としてのわが国が、世界有数の地位にあるといわれながら、その一人当りの国民所得はまだ世界の第二十一位に止まっているという事実に注目しなければならないと思う。

そこで、この国民所得を引き上げるために、経済の成長を図っていかねばならないが、幸いなことに、わが国の経済も昨年から順調な回復をとげており、今後の景気にも期待が持てるようになった。顧わくは、この景気が長期持続的であってほしいと思う。過去の失敗をそうしばしば繰り返すことのないよう政府、金融当局、民間企業それぞれの立場において十分考えていかねばならぬと思っている。

ところで、これからの日本経済の発展の主導的、中核的要因とでもいうものを何に求めるべきか。それは、申すまでもなく、優れた日本人の頭脳の力を基盤にした科学・技術の振興、開発である。現代の世界は、原子力の発展によって、遂には戦争すらも抑止されるようになりつつあるが、産業や人間生活のあらゆる部面で、科学・技術の力が社会を変貌させ、人間をつくりかえていく姿をまのあたりにみせている。それは、宇宙開発とか、エレクトロニクスといったような先端的な分野から、われわれの身辺、日常生活に組み込まれた耐久消費財にいたるまで、多くの成果を収めてきた。このような科学・技術の発展による産業の開発こそが明日の日本への成長の原動力であり、これこそ日本の国土の条件と日本人の素質にかなった国のあり方だと思う。ところが、今やまことに残念なことが起っている。優秀な科学・技術研究者が数多く海外に流出しているのである。頭脳流失の原因は、研究者の処遇や研究環境の問題などいろいろあるにせよ、何とか貴重な頭脳流失だけは防がなければならない。

科学・技術の発展を願うのは、もちろん経済的な国際競争に勝つためであるが、それのみに止まらない。貿易を通じて科学・技術の恩恵が開発途上国を含むすべての人類に及ぶことが必要だからである。なぜなら、科学・技術水準の向上は、人間の思考をより合理的、実際的にし、その普遍性によって各国共通の資産を築き易くするからである。また、これが諸国家、諸民族の間の理解を深め、友好、親善関係を増進することは、今日の世界を蔽う通信や情報機構の進歩がいかに各国、各地域を接近させ距離感を縮少しているかをみただけでも明らかと思わ

営についても新しい時代を画そうとしてい
っている。企業内外のおびただしい情報の洪水のなかで、経営者がこれをいかに処理し、企業活動
引題である。ことに資本自由化をひかえて、これからの企業経営者に要求されるものは、新し
主能力を高度に引き上げることだと思う。わけても中小企業については、昨年も引き続い
った面で特別の指導、援助が必要であるとともに中小企業者が進んでこれに適応する
ることが要請される。
新・近代化をはじめ、考えねばならぬことは山ほどある。とりわけ、われわれの祖
いにふさわしく門戸を広げ、資本や技術、物や人の交流をできるだけ活発にし、開発
く共栄に貢献していくところに、賢明な日本人の歩む道を見出したいと思う。

一九六七年、羊の年、年頭[illegible]好きな紙喰いが、初まる。知事選挙から県会、市町村と県内でも多く[illegible]挙が……
紙↓票喰いが競はれる。この間国会解散も必至と予測されている。
羊に与える紙も良質な物程、よく育つとのことだが、選挙に投ずる一票も良い選良への行使でなければ、お互いの不幸に還元されることを自覚し、健全な政治への権利を高揚すべきだと考える。羊に笑はれない選挙を示したいものである。
懸案の紀元節が、論議の結果二月十一日に決定されたことは、我々奈良県民にとっては喜ぶべき発表だと思う。
何はともあれ、今年は嬉しい楽しい一年であることを祈っている。

奈良県珠算協会々長
名村弘武

正月になるとその気分にひたり勝ちとなって中々エンジンがかゝらない、ために大事な新年のスタートが遅れてしまう。
今年は、年末中に反省すべきことは反省し、新しい年の計画は充分に立てゝおいた。
だから正月よりスケジュールに従って、仕事のスタートを切りダッシュして取り組んでいる。
時は惜みても尚足らぬものである。

ビジネスコンサルタント
松井重行

今年こそ希望の持てる景気の良い年であり度いとだれしも願う処であります。
徴々たる人間一人の力も話合いと和合と熱烈なる意欲があれば、天平文化の様な偉大なる業績を残すことも出来ます。土産品振興の数多い施策も昨年度に概ね準備も終え本年こそこれが実施に踏切る可き年であります。小さな仕事かも知れませんが、これとても関係各位多数の御協力におすがりせねば幸多い年をかち取ることが不可能です。大いに話合の機会を得て業界発展に寄与致し度いと考えます。

三笠物産㈱社長
常議員　松岡太郎

私の一月

いともつ

私は、これまで、毎年お正月が来ると、日記を付け始めるが、永続きしたことがない。処が昭和四十一年の元旦から付けかけた日記は見事に続いて自分ながら感心して居る。その日記は同じ頁に四年連続して書ける様になって居るので、スペースは少い。従って、簡単にしか記載出来ない。それでも、こんどのお正月からは、昨年と比較しながら日記を付けることが出来、又去年のその頃の出来ごとや行事を思ひかえすことが出来るので、日々の参考にもなるだろうし、興味も深いことだらうと、たのしみにして居ります。

奈良市収入役
山口直一

奈良に転勤して来て以来県下関係先への挨拶その他でまたたくまに三ヶ月が過ぎ去った。正月は家族と共に始めて迎える静寂な奈良の正月をのんびりと過せるのを楽しみにしている。幸な事に自宅から春日大社に非常に近いので初詣は春日大社に参拝し次の事をお祈りしたい。
物的流通技術（荷造、包装、荷役、保管、輸送等）の合理化こそ、生産と消費の中間にあって経済発展に大きく貢献するものであり、私はこの流通技術という私の仕事を通じ、皆様のお役にたたなければならぬと思う。何とぞ、皆様の御指導を切にお願致します。

日本通運㈱奈良支店長
議員　金島二郎

業務上災害や、交通事故の増加を思うとき、災害防止業務の一端を担当しているものとして。

不幸にして他界された故人の冥福を祈り、四十二年度の安全祈願をして静かな正月を送ります。

奈良労働基準局長
寺尾喜八郎

私にとって幼い日の感じが一番残っているのが、正月であります。いくつになっても同じ様に楽しくのんびりし、何もかも忘れて朝から祝酒をいただき一年の疲れをいやし頭の整理をする様心掛けています。一年と云う期間をとれば私にとって終りであり初めであり、正月は過ぎ去った年の反省と同時に来るべき年に為すべき事を頭を空にして想いにふけってみたいと夢見ています。

㈱尾田組社長
議員　尾田利一

子供の頃は家々に門松を立て、清純な日の丸を軒になびかせて、年の始めを祝った。近頃のお正月には、斯うした厳粛さより年賀状の差出し、名刺交換会等の祝い行事がぐっと増え心ゆくまで慶び合う。

時代と共に戦前戦後にわけて新年の様式も変ってきたが、それ相当に意味の深いものがあると思う。つらつら往来をふりかえって見たとき、いくつかの意を満たない面白からん事を感じるが新年という新しい立札に対しては今年こそは自分の思った事をなし遂げ慶でたい年を送ろうという新しい希望の光につつまれて、言い知れない愉快さを覚える、ああ新年はめでたい。

幸信産業㈱社長
議員　藤田三郎

年末年始の一週間ばかりの正月休みは、公務に多忙な私にとって唯一のたのしいものである。みんなが歳末のなかで目の色をかえて、とびまわっているとき家族とともに、ゆったりと過すときは、金銭では買えない幸福感がある。私はいつも、この休みのうちに名もない古寺を訪ねることにしている。静かに、み仏との対話ができる。それに歴史の本をゆっくりよむことも、たのしみの一つである。

正月にはなるだけ他人と会うこともさけている。この空白が新鮮な対人関係をうみだし、新年のよろこびを倍増する。

奈良保健所長
石田一郎

今年の正月は、今後の人生に於て為すべき本筋を定めて迎えることができたので愉快だ。

それは般若心経を百万巻あげることゝ〝だらり〟の処生態度だ。

この二つは誓願をする。そしてその他枝葉に於て、事業、政治、宗教、夢、大いに結構だ。縁に随い千万里と行きたい。もう迷うところはない。

貧窮は天の定めるところだ。これ又結構。今年一得一失の人生、努めて愉快に処世いたしたいと思っている。

スペインメロン㈱社長
議員　鍵田忠三郎

私達は、遠い昔から、お正月を楽しくよろこばしいこととして祝って来た。それは現在もなんらかの風習として残っている。

拙宅では、元日早朝から、御燈明をあげ、打つ手の響の中に、一年の無病息災を祈り、永遠の来福を思うという、ささやかな家庭祭儀を永年実行している。

新年を単に、年の始めというだけでなく、日本の民族的、伝統的風習として、更に深い心で迎えたいのである。この様な心情が、社会生活に潤いを与え、強いては、社会道徳を振興させることを祈りつゝ、諸賢と共に、新春をより意義あるものとしたい次第である。

三岡商事㈱社長
議員　三岡嘉三郎

大阪の商家に生れ嫁いだ私は、かっての商家の古いしきたりの中で、年末年始は一しほ忙しく、自分のない生活だった。だが、つとめをもつようになってからは、お正月は何より大事な私のための数日である。

先づ何をおいても新年ともなれば、真剣に過去をかへりみて、新しい年へのこれからの自分のあり方を静かに考えるとともに、はりつめたつとめの生活からしばし心身を休めることでその意義を見出したいと思っている。

奈良婦人少年室長
清水恒子

創立20周年記念式盛大に挙行さる

永年勤続役員、議員に感謝状を贈呈

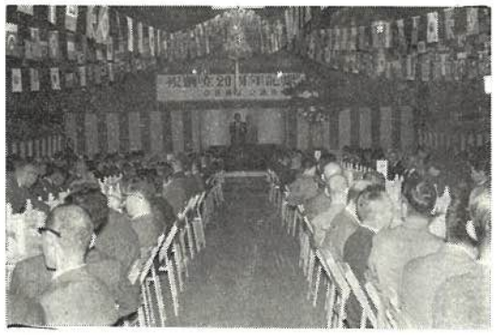
於・県公会堂

当所創立二十周年を記念する式典が去る十月二十一日午後一時半から奈良公園内県公会堂で来賓、会員ら約五百人が参列し、盛大に挙行された。

大森会頭の挨拶に次いで同会頭から故人二人を含め、元会頭、副会頭、永年勤続の役員、議員、職員らに感謝状が贈られ、さらには急病人をかえて困っていた大分県の団体客に対して親身になって世話をし観光地の模範的行為をなした三笠山麓町、鍛冶商店主・鍛治義郎氏に対し感謝状が贈られた。またそれぞれの職場で永年にわたって職務に精励した優良従業員十三人に対し特別表彰を行った。そのあと下位県副知事（知事代理）、高橋奈良市長、日商代表喜多総務課長、近商連代表山県事務局長、奈良経済同友会代表幹事浅田敏章の各氏がそれぞれ挨拶し、また佐藤首相、三木通産相、県選出の奥野、前田両代議士からは祝電が寄せられるなど、二十周年にふさわしい記念式典であった。尚式後、パーテイにうつり、各氏懇談のうちに今後の会議所発展を警い合った。

感謝状被授賞者（敬称略）

一、日本商工会議所関係
　故赤坂頼磨　故福田栖蔵
二、当所関係
　◦元会頭
　越智岩太郎　吉川島次
　◦元副会頭
　杉本甚七
　◦創立以来役員
　河合利喜蔵　小山恭二
　今西清兵衛　下出久治郎
　◦役員十九年
　中村貞三
　◦役員十八年
　乾太郎　垣内寛一　谷井友三郎　菊池武三郎　小山栄三郎
　橋本蔵治　杉山嘉一
　◦役員十六年
　富田富治　綿谷仙治郎



　◦役員十四年
　春田明次
　◦役員十一年
　野村萬作　細田義雄
　◦議員十六年
　平岡孝太郎
　◦議員十一年
　南口豊治　今来勝　中尾政雄
　吉田淳一
　◦職員創立以来
　和井田恒道
　◦職員十五年
　竹中せつ子
　◦職員十二年
　森村雅子　木戸重己

優良従業員被授賞者（敬称略）

◦㈱下出商会　阪本久雄
◦㈱ひのり商店　高井末広
◦共同精版印刷㈱　松田真二
◦旅館大文字　得田和温
◦マルゼン食品㈲　小段謹二
◦奈良交通㈱　境太郎
◦㈱北辰電機製作所奈良工場　河村晋次
◦㈱松森陶磁器店　安田キヨ
◦㈱南都銀行　奥谷寿弘
◦㈱山田薬局　杉岡正弘
◦藤原電気工業㈱　大西勲
◦日本染織工業㈱　中谷良澄
◦㈱玄林堂　羽柴春次

資本自由化懇談会ひらく

―金融税制面で抜本的助成策を―

ここ一～二年で対応措置確立へ

OECDあるいは日米貿易経済委員会等の場で、直接投資を中心とする資本取引きについてわが国の門戸開放を要請する声がいっそう激しくなるにいたっているが、こうした情勢にかんがみ、日商ではさる十一月十一日に近畿商工会議所連合会、神戸商工会議所の三者主催により「資本自由化懇談会」を神戸商工会議所大ホールで開催した。

この懇談会には中央官庁から通産省中川企業局次長、中小企業庁本田計画部長、地元から近畿会議所連合会岩井副会長(京都会議所会頭)はじめ近畿ブロック各地会議所代表、来賓の大阪通産局黒田商工部長、神戸通商事務所蓼原所長ら約百名、日商からは高城専務理事と岡部商工指導部長、当所より河合副会頭、中村専務理事が出席され、特に河合副会頭より「この前提として中小企業の体質改善をはかるため長期低金利政策を樹てよ」と強い発言がなされた。

懇談会は神戸会議所省部副会頭、日商高城専務理事の主催者側のあいさつのあと、近畿会議所連合会岩井副会長を座長に、まず通産省中小企業局次長から〝資本自由化と産業体制の方向〟についてあらまし次のように強調された。

過当競争の根源をただせ

通産省中小企業局次長〔説明要旨〕

◇…技術導入にこれまで諸外国が比較的気楽に応じてくれたのは、成長過程にある日本に対してという感触が強かったからで、いまや国際市場において先進国の強力な競争者という立場に日本がなってきた以上、これからさき技術を頼もうということになれば、外資と一緒になったかたちでなければ導入は不可能となろう。いわんや合併会社ならまだしも、一〇〇%外資の向うの会社が日本に持ち込まれた場合、競争上どんなことになろうかという心配はある。しかし影響が大きいから好ましくないと断定すべき筋合いのものではないので、いま日本の産業がおかれている状態というものを業種ごとにみて、そのなかから慎重に答を出していかなければならないだろう。

◇…先進諸国と日本の企業を比較してみていちばん大きな違いは内部蓄積が少なく、一方設備の償却負担と金融費用がかなり高いことだ。人件費のウェイトは米国などに比べて低いが、それでも利益率は向うの方が高い。わが国の労働需給の長期的すうせいを考えると人件費のウェイトはますます上っていくばかりだ。このときに金利負担の少ない企業と借入依存度の大きい企業とが肩を並べた場合にその競争力はおのずからはっきりしている。かといって急速に内部留保がよくなるということは考えられないから、その前にもう一つあるムダをこのさい業界全体として考えなければなるまい。それは内部留保、利益率を低くしているゆえんである国内における過当競争の根源をただすことだ。

◇…これまでの高度成長の過程においては多少の賃金上昇も生産性向上によって吸収できたが、現状のままではこれが次第に困難になってくるだろう。賃金の上昇が生産性の向上を上回れば、物価が上がるか企業収益が減るかだが、物価の長期的安定をはかるためには賃金上昇を吸収する生産性の向上をはからねばならず、そのためには業界全体として構造改善を進める以外に途はない。また、投資単位の大型化にともなって好不況の波動がいっそう大きくなることも予想されるが、これはお互いに堪えられないところだ。個々の企業がそれぞれ無秩序に大規模の合理化投資を行なえば、かならず長期間にわたる需給の不均衡をもたらすので、経済の安定的運行を期し得ない。

◇…以上のような考え方からして実は自由化問題に対処するということは今後の経済にわれわれはどんな考え方で対処していかねばならないかということにそのままつながる。わたしどもとしては長期需給の問題だとか、諸外国の情勢などについてできるだけ必要な助言はしてゆくが、主体となるべきものはやはり産業界自身である。もしも資本自由化が外圧によって強いられている問題だと感ずる人があるとすれば、それはまだ国際経済と日本産業の関係について十分な認識がないことによると思う。国際的な動きについても自由化をもう少し待って欲しいというセリフだけで対処するわけにはいかないのではないか。結局、自由化に対応する措置はここ一～二年のあいだに思いきって達成しなければなるまい。

□　□　□

□　□　□

□　□　□

長期低金利政策を樹てよ

―河合副会頭発言要旨―

資本自由化は世界の大勢であり、これらの客観情勢のなかにあって、いつまでも消極的、制限的な態度を固執すべきでないと思うが、資本自由化が外国資本の攻勢の上に海外有力企業との経営力の対決を意味するものであり、特に中小企業に及ぼす影響は難くないのであって、自由化の前提として慎重な総合計画のもとに、特に中小企業構造高度化を推進する抜本的な財政金融対策を強化せらるるべきと思われる。従って特に要望したいのは

(1)政府系中小企業金融を更に充実し、今後の産業再編成の線に沿った貸付条件資金量の強化をはかられたい。

(2)特に中小企業の近代化促進・技術開発の水準向上のための特別金融体制を確立せられたい。

(3)以上の金融措置は、いづれも期間10年以上、年利5%の長期低金利方策をとられることを強く要望したい。

(4)輸出金融については優遇度の拡大を期せられたい。

尚本件については日商第二十四回通常会員総会において次の通り決議されている。

(1)従来の試験・研究設備に対する税制上の特別償却のほかに、試験・研究に対する直接的効果を期するため、開発研究に対する研究費の一定割合を税額から控除するため特別措置をとること。

(2)最近における試験・研究の大規模化、長期化に対応し、企業がこれら研究資金をあらかじめ積み立て、好・不況にかかわらず計画的、継続的にこれを実施することができるよう一定の条件のもとに試験研究準備金制度を設けること。

(3)法人および個人が科学・技術の研究・開発に資す目的をもって学校、試験研究機関等に対して行なう各種の寄付金に対する税の減免措置を従来以上に効果的に拡充すること。

(4)技術輸出所得控除制度について現在の控除率(七〇%)をさらに拡大するとともに国内における技術の交流を活潑化し技術水準を高めるため、国際技術の交流の場合についても譲渡所得の特別控除を行なう。

(5)日本開発銀行が行なっている新規技術の開発に対する融資制度については現在のその利用が低いことは遺憾であり、その原因を究明して折角の融資によりさらに有効・活潑に利用されるよう措置すること。

(6)国の機関が開発した技術・研究等であって未だ実用化されていないものを民間に開放しこれを企業化するよう助成措置をとること。

尚、民間の共同研究等の奨励、内外科学技術インフォメーションのPRについてさらに効果的措置をとること。



昭和四十一年度事業報告

（八月～十一月）

（8月）

1～5日　夏期簿記学校　於当所
講師　奈良商工高校　上川皖哉氏
出席　延85名

9日　監事会　於当所
出席　杉山、奥田由、橋本各監事
当所　中村専務理事、和井田局長

17日　第45回常議員会　於当所
出席　河合、小山副会頭、今西、垣内
亀田、近東、下出、末広、富田
野村、春田、細田、松岡、阪本
各常議員
橋本、奥田各監事
当所　中村専務理事、和井田局長
報告事項(1)議員異動の件
(2)20周年記念事業に関する件
(3)20周年記念式典に関する件
(4)家族寮中間報告の件
協議事項(1)昭和40年度事業報告の件
(2)昭和40年度収支決算報告の件
(3)失業保険・労災保険事務組合設置の件
(4)就業規則一部改正の件
(5)議員総会開催日程の件

18日　給食センター運営委員会　於当所
出席　中村専務理事

19日　観光土産品公正取引規約説明会
於当所
出席　木戸課長、綿岡指導員

20日　第3回家族寮建設委員会　於当所
出席　河合委員長他11名
当所　中村専務理事、和井田局長
議件　(1)今後の計画と経過について

22日　経営者セミナー　於奈良ホテル
(1)講師　神戸大学教授　占部都美氏
テーマ　伸びる企業、潰れる企業
(2)講師　財団法人修養団講師
弁管為秀氏
テーマ　社会教育と経営人
出席27名

22～25日　税務継続指導　於当所
指導件数延15件

23日　経営者セミナー　於奈良ホテル
(1)講師　京都大学助教授　鎌倉　昇氏
テーマ　現下の中小企業をとりまく諸問題
(2)講師　住友商事㈱監査役
小泉計太郎氏
テーマ　産業再編成について
出席25名
奈良市観光協会総会　於友楽会館
出席　中村専務理事

25日　奈良市市場連合会創立総会
於当所
出席　中村専務理事

30日　小企業税務対策連絡協議会
於協和銀行
出席　中村指導員

31日　第13回商業デザイン展表彰式
於商工観光館
出席　和井田局長

（9月）

8日　商店従業員スライドセミナー
於当所
出席16名

10日　第33回議員総会　於京都国際会館
出席　大森会頭、河合、小山副会頭
外45名
当所　中村専務理事、和井田局長、
木戸課長

14日　建設部会長との懇談会　於当所
出席　尾田部会長、春田、小林、垣内、岸井、草竹各運営委員
当所　和井田局長
テーマ　家族寮建設について
就業規則、職場規則の作り方講習会
於当所
講師　中小企業診断員　松井重行氏
出席15名

16日　失業保険事務組合打合せ会
於当所
出席　木戸課長、上田指導員
官公需についての中小企業者の受注の確保に関する法律説明会　於当所
出席　綿岡指導員

17日　商店経営巡回セミナー　於明新社

19日　奈良県観光土産品公正取引協議会
創立総会　於当所
出席　木戸課長

19・20日　経営の自己診断（工業部門）
於当所
講師　中小企業診断員　高野幹男氏
出席延25名

19～22日　税務継続指導　於当所
指導件数　延15件

26・27日　経営の自己診断　於当所
講師　中小企業診断員　高野幹男氏
出席延15名

26～30日　夜間簿記学校　於当所
講師　奈良商工高校　立石恵一氏
出席延159名

（10月）

3～7日　夜間簿記学校　於当所
講師　奈良商工高校　立石恵一氏
出席延133名

8日　昭和41年度奈良商店サービスコンクール打合せ会　於当所
出席　県商工課　小松係長
穴田課員
市観光商工課　大間知係長
当所　和井田局長、木戸課長
議件　サービス運動、同コンクール要綱採点表、実施日審議の件

13日　商店主婦講座　於当所
講師　村部経営能率研究所
所長　村部春美氏
テーマ　商店主婦のあり方について
出席11名

18日　商店巡回経営スライドセミナー
於富雄

24～27日　税務継続指導　於当所
指導件数　延16件

27日　消費者座談会
出席　中小企業診断員　高野幹男氏
県商工課　小松係長
〃　穴田課員
市観光商工課　滝川課長補佐
〃　大間知係長
消費者代表　10名
当所　中村専務理事、和井田局長
商店経営講座　於当所
講師　中小企業診断員　今井正道氏
テーマ　これからの商店経営のあり方
出席20名
県政視察
出席　和井田局長

（11月）

4日　商店巡回スライドセミナー
於　もちいどの商友会
出席85名

7日　大和タイムス創刊20周年記念式典
於奈良ホテル
出席　中村専務理事

8日　家族寮建設委員会　於当所
出席　河合委員長外9名
当所　中村専務理事、和井田局長
議件(1)現在迄の経過報告
(2)今後の進行計画について
雇用主懇談会　於春日野荘
出席　木戸課長

10日　商業小売部会運営委員会　於当所
出席　阪本部会長外14名
議件(1)小売業界景況について
(2)歳末大売出しについて

11日　資本自由化懇談会
於神戸商工会議所
出席　河合副会頭、中村専務理事

15～21日　年末金融特別相談
於当所、手貝町会所、天神社々務所
三条会館、三和住宅ビル
相談担当　奈良市観光商工課、県信用保証協会、国民金融公庫、当所中小企業相談所
相談件数　延24件

16日　日本商工会議所常議員会　於東商
出席　和井田局長
失業保険事務打合せ会　於春日野荘
出席　中村、上田指導員

17日　アメリカ副領事との経済懇談会
於当所
出席　アメリカ副領事ルイス・Nキャバナー
当所　河合、小山副会頭、和井田局長

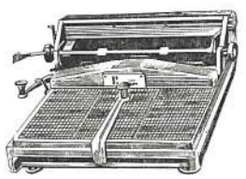
21日　金融懇談会　於当所
出席（金融関係者）
亀田県銀行協会長外15名
（業界側）
阪本小売部会長外13名
（ゲスト）
市　山本経済部長
当所　河合、小山副会頭、中村専務理事、和井田局長
産業カウンセリング制度説明会
於関電サービスセンター
出席　中村主事

21～25日　税務継続指導　於当所
指導件数延6件

21～24日　工業経営セミナー　於当所
講師　中小企業診断員　高野幹雄氏
テーマ　経営管理について
出席延15名

24・28・30日　経営指導員研修会
於大阪国税局
出席　中村、吉田・綿岡・上田指導員

25日　万国博委員会　於京都会議所
出席　中村専務理事
大和観光(株)モーテル油倉山荘落成式　於同所
出席　河合副会頭、中村専務理事、和井田局長

ペンがわり
小型邦文タイプライター
だれでも　手書きより速くなります
どこでも　軽便自在のポータブルタイプ
豊富な活字　当用漢字製正分・英文活字共2205字収容
邦文自由操作
日本タイプライター株式会社
＜新発売＞

SH型
45,000
県内有名文具店にあり
奈良明新社
奈良市橋本町　電㉓3131（代）
大和商事社
奈良市勝南院町　電㉓3829・5015

＜講演＞

現下の中小企業をとりまく諸問題

産業再編成についての認識

京都大学助教授　鎌　倉　　昇

当所では技術革新、資本自由化と転換期を迎えたわが経済界の動向をより正しく把握するため去る七月奈良ホテルにおいて講演会を開催した。

奈良産業界のトップ事業場より多数の出席があり、熱心な質問も出て真に有意義なセミナーであった。次に収録したものは二日間にわたる講演のうちの一部である。

◇外部的には資本の自由化が要因

日本経済というのは今さら申すまでもありませんがだんだんと世界経済の中の一つの檻の中に組み入れられて参っております。つい数年前までは外資の移動資本移動の自由化ということも話題にのぼらなかったわけです。しかし最近紙上で御存知のようにケネディラウンドという問題が出て参っております。ケネディラウンドとは簡単に言えばケネディが大統領になった年のことをいうのですが実際には一九六〇年十二月にしたケネディの演説内容を指すのです。これはアメリカの全国商工業経営者協会というのがあり、この会議がニューヨークで開かれた際に行われたものであります。要するにEEC諸国というものはああいうふうに六ケ国が一つの国のように相互間の関税を撤去する方向に動いているが、アメリカも今迄のような大国意識を捨て、EEC諸国及び共通の考えをもつ国との間の関税を半分に下げてしまおうではないかというわけです。

EEC諸国では今迄一つ一つ独立国であった六ケ国が一九五八年にローマ条約を締結しこれからお互いに経済を一つの共通のマーケットにして、三年後には関税を全部なくしてしまうことで同意しております。ところがEEC諸国とアメリカではその利害関係がかなりくい違って来る場合があります。それは大きな発電機とか原子関係のものはアメリカの方は有利ですから、フランスやイギリスに対しては下げてもらいたいが、反対にフランスなどは有利なものが別にありますからこれについては下げると支障を来たすことになるのです。こういう複雑な利害関係の上に立って各々が主張するとまとまらないので、一つ大まとめにしてやろうとケネディが言ったわけであります。ようやくEEC内部の姿勢がまとまり、じっくりとこの問題について話し合おうというのがアメリカとEEC諸国の現在の状態でありますが、このようにお互に税金を下げ合うことになりますと、日本としても困るわけであります。というのはアメリカとEEC諸国同志は安くするしかし日本に対しては今迄通りというのでは困るのであります。日本側としても是非この際仲間入りさせて欲しい、交渉次第では関税を半分にしてもらいたいということです。イギリスもそういう態度をははやくから示しております。カナダも同じです。

それで日本は外務省の牛場審議官がOECDに参りまして審議を始めている最中であり、先日も新聞に報道されていましたように、日本はあまりにも例外を要請し過ぎるといわれておりますが、とにかくジュネーヴで今議論されているのです。そうしますと日本経済もしばらく時間はかかりますが世界経済の一環として折り込まれてゆくことになります。ここで我々が考えなくてはならないのはEECはどうなってゆくのかということであります。ドイツ、フランス、イタリヤ、オランダ、ルクセンブルグ、ベリギーが一つの経済圏になったということはとりもなおさずお互に国境をはずしたと考えることが出来るわけで、今迄ドイツ内に於て競争上有利であったものがフランスからもオランダからも自然に流れ込んでくるということになります。こうした今迄とは全く違った状態のなかで、日本が一挙にEEC国家になるとは考えられませんが、だんだんとこうした方向に進んでゆくということは考えられます。そうなってくると日本の産業ないし企業はどういう形で適応し、対処してゆく必要があるのだろうか。どういう形で新しい形態に脱皮してゆくべきか。特に中小企業はどうなるのだろうか。これなども今真剣に考え直してみるべきであります。今迄の状況とこれから置かれる状況というものは何も朝起きてみたらとたんに変っていたというものではありません。しかし一年とか二年と期間を区切ってみますとやはり眼に見えない形で徐々にではあるが思いの外事態は変遷しているのであります。こういうこともこれから考えていかなければならないと思います。

◇内部的には日本の社会構造の変化

外部的には日本をとりまく国際的な環境の急激な変化がありますが、内部的には日本の経済の中で大きな変化が起りつつあるということを見逃してはならないと思います。今日よく日本経済は自由化の方向に進んでゆくために開放経済体制をとり、そのためにいろんな問題が起るんだという言い方がされております。しかし私はただ現象のみを取り上げることは少し危険だと考えております。即ち現下の日本経済の変化というのは外側にあらわれるものと、内側に潜在しているものとがあります。私はむしろ内側に潜在するものに大きな問題があるのだと考えます。つまり日本の急速な社会構造の変化であります。こう考えてよいと思います。では具体的にどんなことを指すのかと申しますと、よく日本経済について二重構造であるといわれ、これを一部の人々は日本の恥であり又よくないことであるといっております。またこれは日本独自のことであり、他国には存在しないといわれて参りました。しかし大企業が存在し中小企業が存在する。その上零細企業が存在する、これが二重構造であると考えている人がありますが、これは誤りであります。もしこれが二重構造であるならば、なにも日本独自のことではなくアメリカでもイギリスでも西独でも中小企業は厳然として存在しております。だから大企業と中小企業が同時に存在することが二重構造であるならなにも日本の特質でもなんでもありません。この際もう一つ強調しておきたいのは、二重構造と関連して資本主義社会が進んで来ますと中小企業と零細企業はだんだんなくなってしまい、大企業だけの独占形態のようなものになっていくという迷信があることです。たしかに技術的な観点からみると石油産業や鉄鋼、造船業などは中小企業では成立たない産業であります。コスト面からみても大企業が有利な産業であり、こうした方面には中小企業は進出することがむつかしくなって参ります。しかしながら同時に大企業では成立たない業種がたくさんあります。ですから資本主義社会が進みますと中小企業や零細企業はこの世の中からなくなってしまうということは一つの迷信といえましょう。では何を二重構造というのか。大企業を一方に考えて中小企業、零細企業を他方に考えた場合、大企業の基礎になっている地盤と中小企業、零細企業の基礎になっておるような社会的地盤の間に本質的な相違が存在しているということを指すのです。言を換えるなら今迄大企業と中小零細企業の間に競争もあり、いろいろの利害関係などがあったのですがこれらはある意味では違った土俵の上に立っていたのです。何が違う土俵かと申しますと、これは大きな賃金格差が存在し、おのずと形態も異っていたのです。賃金水準即ち雇用の形態が違っていたということです。例えば徒弟制度とか呼ばれるように町工場などでは安い給料で人を雇っておりましたし、また問屋などではお客が来る前に掃除をし、夜中になっても注文があれば飛んでゆかねばならないといった状態でした。しかし日本中全てがこのような雇用形態をとっていたというわけではなく、生産性の高い企業は高い給料を払っていたのです。このように労働条件に格差があっても以前は中小企業にも人が来たのですが、だんだんとそうは参らなくなって来ました。それは今までは生産性が高いから高い給料を払う、生産性の低い企業は安い給料を払うということで何とかうまくいっておったのが、次第に給料の額は経済の成長と、これに伴う労働力需要と供給の関係で縮まっていったのです。例えると各駅停車電車という大企業の給料水準のあとから急行電車という中小企業の給料水準がどんどん迫っていったということです。中小企業の中にはなんとかうまくいく企業もあります。例えばコストが上って来ますと上って来た分だけ自分の所で売っている品物の値段を上げるとか、又はサービスの料金を上げることで補ってゆく。これら業種についていうと、消費者からみて絶対必要な商品を売っているところはこの方式でやりくりがつくわけです。しかしこのようにうまく切り抜けられる企業ばかりではありません。もしどの企業だって値段を上げることにより対処出来るのだったら、企業経営ほどやさしいものはないはずです。そうはいかないのです。

現状に対する対策について

◇生産性の向上ということ

生産性の向上という言葉はよく漠然と使われている場合が多いようですが、本当は二つの考え方があります。一つは何人の人が何時間の間にどれだけのものを作るかということが生産性だと言われます。これは正しい表現であり、非常に重要な考え方です。例えば生産性を向上させることは新らしい設備を導入することによって今迄よりもはやく、より少ない労働力でものを作るということです。これはコストダウンにつながってゆくのですが、私が強調したいのはもしそういう形で生産性の上昇がすべて終るのなら、このことは極く簡単なものだということになるが、実はもっとほかの問題があるのではないかということです。技術とこれを実現させる資金があればこのことは実現するのが当然といわなくてはなりません。しかし私はもっと全体からみた生産性とは何だろうかということを考える必要があると申し上げたいのです。いい例がアメリカの鉄鋼業にあるわけですが製品が売れる間は技術の導入によるコストダウンが附加価値の増加につながり本当の意味の生産性の向上につながったのですが、一たん不況を迎え需要が減ると出来上った製品は倉庫に眠ってしまう。この場合販路をどうするかということが問題になります。アメリカの鉄鋼業の場合考えられたことは、ただセールスプロモーション（販売促進）をやることは避け、スチール製事務机を試作品の段階まで自分の所で作るとか、缶入りビールやプレハブ住宅などを考えたわけです。このように、真の生産性の向上とはただ技術改新によるものではなく販路を考慮した上のものでなくてはなりません。中にはただ多く作ることが全然後に立たない場合もあります。

◇

こう考えて参りますと外部的な諸問題つまり経済的な国境が次第にとり除かれ国際競争というのはいよいよ本当の形になってゆき、日本の商品もどんどん海外へ進出してゆくかわりに諸外国の商品もどんどん入ってくるようになりましょう。うまくゆけば国際間の分業というものも成立つかも知れません。しかし楽観はさらさら許されそうになく厳しい試練をのり越えてゆかざるを得ないでしょう。そして本当に力のある中小企業はどんどん成長し、そうでないものとの格差は次第に拡がってゆくということは予想するに難くないのであります。

年末金融懇談会を開催

金融懇談会出席者名簿　（敬称略、順不同）
昭和四十一年十一月二十一日
於・奈良商工会議所

近畿財務局奈良財務部理財課長　保井源一
奈良市経済部長　山本進
奈良県銀行協会々長　亀田源治郎
商工組合中央金庫奈良支店長代理　土田忠治
国民金融公庫奈良支店業務課長　服部滉
奈良県信用保証協会専務理事　胡内郁蔵
奈良市信用金庫理事長　富森光弘
副会頭　河合利喜蔵
副会頭　小山栄三郎
専務理事　中村貞三
商業小売部会　◎阪本善雄　橋村嘉郎
岡本栄一　今来勝
商業卸部会　中谷安治　上林安彦
工業部会　◎高村栄一　秋山利市郎
醸造分科会　◎富田富治　植田喜三郎
繊維工業部会　◎大東善治　西田誠宏
観光部会　水谷嘉六
工芸部会　◎尾田利一
建設部会　菊池久　武金島二郎
交通運輸部会　（◎印部会長）

当所では、年末の消費量増大と共に日本の商慣習的な決済期を迎えて資金需要の増える年末金融事情を中心とした金融懇談会を十一月十七日、当所二階ホールで、商工業代表と金融機関代表に御出席を願い膝を交えて開催した。

出席者二十六名、先ず河合副会頭より開会の挨拶の後、亀田県銀行協会長より「当面の景気と年末金融事情」をテーマとしたお話しを伺い、次いで各業界の景気動向について発表があり引続き、商工中金、国金、信保より各々状況説明の後懇談に入ったが、業界代表側より現実に即した活発な質問あり、これに対して懇切な応答が行なわれ、会議は終始緊張のうちに終った。

金融機関状況説明

地方金融については各行共特別融資の窓口を開いて万全を期している、との事で政府金融機関としては

商工中金＝大体年末金融として昨年より二〇%増の七億円位の予定で準備を整えている。

現在の奈良県産業については有効需要の伸びは奈良県にはなかなか来ないのではないかと云う感があり、又今後の経営には合理性が追及される様にならう。

国民金融公庫＝奈良支店では三億七千万円追加わくが出来十月より十二月にかけて八億から八億七千万円が年末資金として出るだらうと予測している。

但し十一月二十日までの申込分については年内に御用立出来る見透しである。

県信用保証協会＝本年四月より十月末までの保証状況については約二十六～七%各々増加を見ている、という傾向にあり年末特別保証についても昨年の一六四件よりも増加する見透しである。

業界側からの要望等

業界側の要望質問要点は次の如くであった。

一、政府金融機関に対する申込書をもっと簡単にしてほしい。それに対して国金より平素取引がないので全々信用度がわからないので信用の程度をみる最低の事項を書いてもらっている。又記入の方法については当庫、又会議所でも指導してもらっている。

一、信用保証協会を通じた場合の借出し金融機関の金利統一については保証協会より出来るだけ金利を安くして頂く様依頼していると回答あり。

官公需の契約について

ボールペンからビルディングまで一口に官公需といっても範囲が広く小は一般官公庁が調達する消耗品から大はダム、アパート建設等の諸工事に至るまであります。官公需の内容や手続きについての基本的な事柄は次の通りです。

○受注機会増大のための措置について
①競争入札参加資格者の審査が簡素化
②事業協組の共同受注優遇
③分割可能な発注は出来るだけ中小企業へ
④中小工事、中小企業製品については出来るだけ中小企業へ
⑤大企業の外注にも中小企業と適正な取引を
⑥中小企業官公需担当官が任命された

○契約手続きについて
まず参加しようとする官公庁に一般競争及び指名競争参加資格申請書を毎年1月～2月に提出。
①一般競争、指名競争参加資格審査申請書②定款③登記簿謄本④営業経歴書⑤財務諸表⑥納税証明書⑦印鑑証明書⑧営業品目調書

＜評論＞

今年の景気を決するもの
—設備投資と国際収支—

武村忠雄

一、回復段階だった四十一年度

こんどの景気の波は一昨年五月から八月ごろを大底にして、一昨年九月から昨年九月にかけ回復段階に入った。だが、近く順調に回復から本格的上昇に移るかどうかが問題である。

景気の回復とは、企業収益の落ち込みが止まり、好転しはじめた状態である。景気の本格的上昇とは、増配しうるほど企業収益が本格的に好転し、しかも、そういう状態が一年半も、二年以上も長く続く状態である。

たしかに、昨年三月期の企業収益は小幅であるが、四期ぶりに減益から増益に転じた。したがって昨年三月期から景気は回復段階に入ったとみられる。さらに昨年九月期の企業収益の総額は前期以上に増加したものの、売り上げ利益率も、資本金利益率もよくなっておらず、したがって多くの企業は増配しうるほど収益は好転していないから、九月期も依然回復段階にとどまっていたとみるべきである。

二、設備投資の活発化は四十二年度下期以降か

もちろん資本自由化がこの二、三年のうちに逐次主要産業で実施されることが予想されるだけに、外国の超大企業との競争に耐えるため、より高度の設備の近代化投資を行う必要性を大企業経営者は痛感している。

だが前述の如く、尨大な過剰設備を抱えているため、より高度の設備の近代化投資はいたずらに過剰生産に拍車をかけることになる。そこで、より高度の近代化投資を行うには、それと並行して過剰設備の廃棄が行われなければならぬ。だが過剰設備のスクラップ化は個々の企業単独ではできない。業界ぐるみで行わなければならぬ。それには、その前提として、企業の整理、統合、合併、協力化など業界の再編成計画ができなければならぬ。業界の再編成は個々の企業の経営者、労組の利害が結びつくだけに、抵抗が強く、容易にできるものではない。したがって、一方で資本自由化の圧力がかかるにしても、業界内部の利害対立から、主要業界の再編成計画ができるまでに、まだ少くとも一年はかかるであろう。したがって、早くて今四十二年度下期以降にならないと、業界の再編成、過剰設備のスクラップ化と並行した設備の近代化投資の活発化、それによる景気の本格的上昇に移らないであろう。

三、景気が回復から本格的上昇に順調に移るか否かは国際収支がきめる

かく景気が本格的上昇に移るのが早くて今年度下期以降だとすると、それまで景気回復が続くかどうかである。それまで回復を続けるには二つの支えが必要である。一つは金融緩和政策、もう一つは積極財政政策が続くかどうかである。さらに金融緩和政策と積極財政政策を続けうるには、国際収支の均衡が保たれていなければならぬ。国際収支が赤字になりだすと、好むと好まざるとにかかわらず国際収支改善上、金融引締め政策なり、設備投資に手をつけたため、いまだ主要産業は尨大な過剰設備を抱えているからである。また、たとえ昨年十月以降多くの産業で生産調整が廃止され、設備のフル操業がはじまったにしても、それは決して過剰設備がなくなったことを意味するものではない。というのは、例えば鉄鋼、石油産業にみられるように、フル操業開始とともに、ふたたび過剰生産、販売価格の下落傾向が表面化しており、このことは設備が依然過剰なことを証明しているからである。このため四十一年度下期には、大企業の近代化投資は活発にならず、したがって景気は回復から本格的上昇に移りえなかったのである。

緊縮財政政策なりに転じざるをえない。そうなると、今年度下期以降に本格的上昇段階に移る以前に、景気は下降に転じざるをえない。

かく国際収支のいかんが、順調に景気が本格的上昇に移りうるか否かをきめる。

ところで、今四十二年度の国際収支は今年一―三月ごろになると、ほぼ見通しがついてくると思う。

国際総合収支は、直接、間接のモノの売り買いから起る収支である経常収支とカネの貸し借りから起る収支である資本収支とからなっている。ところで、かってはわが国の金利より欧米先進国の金利の方が安かったから、企業は外国からカネを借りた方がとくであり、したがって外国から余計にカネが流れ込み、資本収支の黒字が続いていた。それが、一昨年下期から欧米の金利が上りはじめ、昨年度に入ると、一部金利わが国より高くなり、そのため従来欧米から借りていたカネを返し、国内で借りかえた方がとくになってきた。その結果、四十一年度に入ると資本収支の赤字増大から総合収支まで赤字になるのではなかとの警戒論が出はじめた。それでも四十一年度上期は大勢資本収支の赤字を経常収支の黒字でカバーし、総合収支が黒字を保っていたから問題はなかった。また仮にに四十一年度下期に総合収支が多少赤字になってもスワップ協定（自国通貨の預け合い協定）などを発動させ、その赤字を埋められるから、まださして心配がない。

問題は四十二年度に入り、資本収支の赤字が続き、他方、経常収支の黒字が小さくなり、その結果、総合収支の赤字がますます大きくなりだすかどうかである

ところで、四十二年度は欧米の高金利は続き、そのため資本収支の赤字は続きそうである。そうなると、総合収支が赤字になるかどうかは経常収支の黒字、とくに貿易収支の黒字の大きさにかかる。その貿易収支の黒字の大きさは、今年一―三月ごろに見通しがついてこよう。

第一に、一―三月は原料輸入シーズンだけに、一―三月の輸入動向でこんごの輸入規模の見当がついてくるからである

第二に、通常輸出の三〇％台を占めるのは対米輸出であり、その運命をきめる米国の景気が四十二年度になお上昇が続くか、下降に転ずるかも、今年一―三月ごろ見通しがつくからである。とくに米国のこれからの景気に重大な影響を与える今会計年度の増税案がどの程度のものになるか、はっきりしてくるからである

第三に、直接、間接のベトナム特需が四十二年度も依然増加するか、逆に急減するかも、一―三月には予想がつきはじめるからである。すなわち、米国は今年一―三月にはベトナム戦争開始以来、はじめて大規模な物量作戦を展開する。それによる北ベトナム側の軍事消耗の急膨脹からはたして徹底抗戦を続けうるか、それとも早期に和平に転ずるか、予想がつきはじめるからである。

したがって、今年三月までは景気回復運動が続くから強気でよいが、今年一―三月に四十二年度の国際収支見通しをつけ、それによって今年度なお強気で進むべきか、それとも弱気に転ずるかをきめるべきであろう（「経済復興」より転載）

綜　合　印　刷

共同精版印刷株式会社

取締役社長　近　東　弘　七

本社工場　奈良市尼辻町１丁目５７７　電話奈良 代表(３３)6501番

大阪工場　大阪市南区竹屋町７番地　電話大阪 代表(271)7951番

東京工場　東京都文京区小石川４丁目１５の１５　電話東京 代表(813)7451番

昭和四十一年度 奈良商店サービス・コンクール

今日の商業界には種々の問題があるが何といっても商業者自らが商品流通機構に占める重要な役割を自覚し、消費者に対するサービスの改善向上をはかり、消費者の信頼を高めるとともに、商店の近代化・合理化を計り、消費者に安心して買物をして頂ける店舗・街づくりを推進することが大切であるとして、当所では奈良市、日本商工会議所と共催のもとに去る十月一日より三十一日の一ヶ月間を奈良商店サービス運動月間と定め、講習会、講演会、消費者懇談会等事業を展開したが、この一環事業としての奈良商店サービス、コンクールを次の通り実施した。

本年度コンクールは、店舗、陳列、照明に四〇％、商品知識、接客サービスに四〇％、経営に二〇％の審査基準により審査をなした。

審査については、高野幹雄氏を審査委員長として、その他学識経験者六氏により各参加店を巡回、採点をなした。

各審査員の慎重審査の結果いずれの商店も非常に優秀で選出に苦心したが次の各店が入賞と決定した。なお、この六店は日本商工会議所主催の全国商店サービスコンクールに参加し全店入賞した。

（知事賞）
。㈱奈良物産館かわい商店　河合　健雄　奈良市橋本町

（市長賞）
。朝日屋洋服店　吉桑　荘治　奈良市今御門町

（市会議長賞）
。㈱福田屋玩具店　福田由之助　奈良市餅飯殿町

（商工会議所会頭賞）
。㈱橋本商店　橋本　蔵治　奈良市橋本町

（商工会議所会頭賞）
。浅川靴店　浅川　増市　奈良市学園町

（商工会議所会頭賞）
。このひら　木平　安子　奈良市東向北町

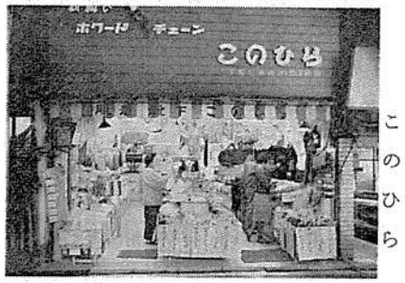
尚本サービス・コンクールの審査で感じられた点は審査員各氏によると店舗構造・商品構成等については、全体的に各店とも独特の工夫がなされ努力のあとが認められるが、反面人手不足も原因してか接客技術、又精神的なサービスについては、物足りぬものがあったことである



朝日屋洋服店



㈱福田屋玩具店



このひら



浅川靴店



㈱奈良物産館



㈱橋本商店



消費者の声を聞く

――座談会――

昭和四十一年度商店サービス強化運動の一環として消費者から奈良市内商店に対する〝生きた声〟を聞き、今後の運営方針の指針とするために「消費者との座談会」を去る十月二十七日当所二階ホールで開催いたしました。以下にその内容を収録いたしましたが、消費者として常時市内商店で買物をなされておられるだけに細かい点の指摘もあり、経営者の皆様にも今後の経営上の参考になると思います。更に当会議所においてもこれらの意見をもとに今後の商店経営上の指導を行うつもりです。

司会　お忙しいところお集まりいただき有難う御座居ます。今日は商店サービス月間の催しとして、皆さんに忌憚のないお話をしていただこうと思います。今後の商店のサービス向上には皆さんの御意見は真に貴重です。まあお茶でも飲みながら、ざっくばらんに話していただきましょう。

商品に豊富感を

司会　では先づ一般的な商店街の御感想からお伺いしてみたいのですが。

A　布地を買うことが多いのですけど、大阪に行けば商品の種類も多いのでつい出掛けます。販売方法についても布を小さく切って番号をつけてあり、番号を言えばその品物を出して来てくれます。品数が多いのでスペースの関係でこうしてあるのでしょうけど大変便利です。

B　私も同じように思います。例えば同じ赤色でもたくさんあって自分の気に入った品物が買えるのは魅力ですね。

C　やはり大阪へ出ます。

D　私の場合、九〇%は奈良なんです。大阪に行くと何やかやとつい買ってしまうんです。家族で行くと余計そうなんです。

小松　その時お金を払うのは誰ですかな。（笑）大阪に出られた時のお買物といいますと具体的に何を買われますか。

D　具体的にというよりつい買ってしまうのです。それで予算をいつもオーバーしてしまいます。

E　私も比較的奈良で買いますが服地は大阪ですね

F　大阪は何かしら安いように思えるのです。

司会　でもやはり奈良での買物も相当あるわけでしょう。

F　そうですね。六割位奈良でお買物をいたします。

G　私は最近奈良へ来たばかりで事情がよくわからないのですが、大阪に居た時は行く店はきまっておりました。奈良ではまだこれときめた店はありません。

接客サービスももう一息

司会　ところでサービスという点ではどのようにお感じですか。

D　一言でいうと不親切ですね。

H　二度目に行くともう店員さんがかわっている店がありますね。それで信頼して買物の相談が出来ません。

B　私達はよく糸などのような小さいものを買いますけど、金嵩が張らないと冷たくあしらわれているような気がするんです。

小松　確かにそれはありますね。

司会　品物の交換、返品について実際に御経験なさった方はありますか。

M　セーターを買った時まずい点があったので三日ほどして換えてもらいに行きましたら、永い間待たされた揚句、不機嫌な態度でやっと換えてもらいましたがあと味は悪かったことを覚えています。こんな時は気持よく応待してもらいたいと思います。

L　仕事の関係で同じ上着を十着ほど買いましたら、三着ほど色合のおかしいのがあり換えてもらいましたが、いやな感じでした。

小松　なるほどね

D　生地を買ったのですが、なめにはさみを入れたらしく寸法が足らず、二～三日後にそのお店へ行ったのですが「同じ生地はもうありません」の一言以後そのお店での買物はやめました。

小松　会議所の方の苦情承わり所はどうなのですか。

司会　あるんですよ。どんどん会議所に言って来て欲しいものです。私自身も以前に似た例がありました。孫の傘を買ったんですが、「絵が違う」というものだから交換してもらいに行ったら随分待たされた上、強い言葉で「何時買われたんですか」と言われたことがありますが、気持よく交換してくれればよいのにということでしょう。勿論商品の内容によっては後からの交換が具合の悪いものもありますが。

D　そうですね。

滝川　こうした接客サービスについては積極的な指導育成が必要のようですね。

司会　会議所の方でも随分やっているのですが、お聞きしてみるとまだまだという感じですね。

小松　これは県外の話ですが、食料品の交換にも応じている所があります。今はその店は大きくなって百貨店のようになっています。

司会　相当耳の痛い話を聞かせてもらいましたがよい面についてどうでしょう。

D　老舗は感じもよくて店員さんも親切です。こちらにそういった先入感があるのかも知れませんが……。

司会　もとに戻りますが、店員さんについてもう少し聞かせていただけませんか。

高野　先日コンクールの審査で商店を回りましたが、こうして目的を持って回った場合、特に店主や店員のだらしなさが眼につきます。店員同志、あるいは店主と店員がおしゃべりばかりしており、又は裏で雑用しながら客があったら出て来て売っているというのがあります。

ムードづくりも大切

司会　スーパーでよく買物をされますか。

E　よく入ります。買いやすいですね。

H　買わなくても堂々と出はいり出来ますから何回でも行って充分にみてから買うことが出来ます。

司会　スーパーの衣服部と衣料専門店との感じは如何ですか。

L　専門店ははいりにくい感じですね。

D　そのかわりメーカー品が多いようですね。スーパーは品種がものたりない感じがします。

高野　同感ですね。

司会　スーパーで通路の広いのがありますが。

D　ちょっと広過ぎる感じがしますね。

高野　ところで化粧品等はどこで買われますか。

E　殆んど専門店です。

高野　メーカーによりいろいろ名前をつけた会がありますが。

E　皆入会しているようです。

大売出しはスマートに

司会　もうそろそろ恒例の大売出しのことを考えなければならない時期なのですが如何でしょう。福引付き売出しであたったことはありますか。（笑）

高野　御出席の皆様はどうやらなさそうですな。

小松　車に当てられる率の方が高い位ですか。（笑）

司会　商店街の方々もこれについては悩かスケールが小さいということもある。

E　そうですね。

司会　ここ二～三年各店ともよくはなって来たんですがね。

G　たしかにそうですね。夏の頃でしたが、奈良の商店街でムード音楽を流していましたが、つい買物をしたくなるような気持になります。

穴田　じゃ今度はセンスの問題について奈良と大阪ではどのようにお思いですか。

A　残念なことですけど奈良の方が落ちるようですね。

小松　いいものがあっても大阪に比べ何

D　活気は出て来ているようです。

滝川　ディスプレィの効果ということにも神経が使われて来ていますよ。

高野　たしかに進歩しています。

入りやすいスーパー

御出席の方々

（略称敬称不同順）

○消費者代表

松岡　弘子　藤影文化服装学院
藤本　京子　〃
今西　久子　辰巳ドレスメーカー女学院
小倉　靖代　〃
都　美恵　若羽割烹学園
松井　敏江　〃
岡田　錦子　㈱南都銀行
森本江津子　奈良交通㈱
林　きよみ　関西電力㈱奈良支店
馬越　峰子　日本染織工業㈱

○学識経験者

小松　邦男　奈良県商工課商務係長
高野　幹雄　中小企業診断員当コンクール審査委員長
穴田　広澄　奈良県商工課中小企業診断員
滝川　正治　奈良市観光商工課課長補佐
和井田恒道　奈良商工会議所事務局長
大間知寛二　奈良市観光商工課商工係長

○商工会議所

（司会）　奈良商工会議所専務理事　中村　貞三

んでいるのです。

G センスの問題だと思います。現状はマンネリズムです。気分転換をはかるために売出し方法に変化をつけて欲しいものです。

滝川 今迄見られたように旗をたてたりいろいろ飾りつけたりしてあるものをもっとスマートにという意味ですか。

G そうです。

高野 奈良のムードというものにあまりにもおぶさっている感じがありますね。これをスマートにするわけですね。すぐ鹿ですからね（笑）。

小松 サービス券はいりませんか。

B ないよりある方がいいです。

C サービス券のかわりになにかくれる方がましのようにも思います。

小松 サービス券は必ずくれますか。

G くれればもらいますが、こちらから口に出してまでももらおうとは思いません。

司会 大変失礼とは存じますが、月々のお小遣いはどのくらいですか。

A 今ボーリングに凝っているものですから1万円ぐらい使います。

C 千円か2千円ぐらいもっていて、なくなるとまたもらいます。

穴田 化粧品ではいくらぐらいですか。

E 化粧品は年間1万5千円ほどです。

D 8千円位かな。

F 私は月千円から千5百円位です。

I 4～5千円がふつうですが、3千円位でおさえることもあります。

K 教養費もふくめて5～6千円です。

司会 いろいろお話いただきましたが、このあたりでそろそろ。今日はお忙しいところどうも有難うございました。皆様の御意見を大いに生かしていきたいと存じます。

＜お知らせ＞

労災保険事務組合制度について

わが国の新たな施策として労働災害をこうむった人々に対する補償と、それらの人々の社会復帰の促進が計られておりますが、今度労災保険事務組合制度が出来ましたので皆様の御便宜をはかるためここに解説を加えました。

（労働者災害補償保険制度とは）

この制度は業務上の事由による労働者の負傷、疾病、癈疾または死亡に対して労働者及びその家族に保険給付を行うものです。適用事業所の範囲としては労働基準法の適用を受ける事業所又は事務所であって、常時五人以上の労働者を使用する事業又は原動機の定格出力の合計が1.5kw（二馬力）以上使用している事業であれば強制適用事業所となり、又それ以外のものについては任意適用事業となる。又特別加入制度が新たにもうけられ、労災保険事務組合に委託した中小事業主とその家族従業員は特別加入の申請をしますと、一般従業員と同じように保険給付が受けられます。

失業保険事務組合制度について

人手不足の問題は今日ではあらゆる企業経営者に共通した悩みとなっております。事業主は現在働いている従業員の待遇を良くして定着させることを考えなければなりません。このためには従業員が安心して働けるように心掛けることが大切です。その一つとして失業保険に加入し従業員が万一失業したとき生活に備えることも必要です。しかし事業主の一部のかたは失業保険に入ると退職する人が増えると心配していますが、そのような例はごくわずかで、むしろ最近では従業員は失業保険に深い関心を持っていることは「事業所がつぶれる心配はしなくてもやはり失業保険に加入していると心強い」といっており、社会保障制度の完全適用こそ雇用近代化の第一歩といえましょう。

（失業保険制度とは）

失業保険は常時従業員を五人以上雇用している事業所は強制的に適用されますが、従業員五人未満の事業所でも認可を受けて加入することが出来ます。現在奈良県においてもこの方針に従って五人以上の事業所で失業保険に未加入の事業所を完全に適用するほか、五人未満の事業所に対しても任意加入の促進がはかられております。

（当所の失業保険事務組合とは）

一口に加入後における事務は簡単だといっても、小企業においては面倒だと思われますしそれだけ事業主の負担が増えることになりますので、当所では失業保険法第五章の三に基づき、失業保険事務組合として事業主の委託を受けて事務代行をすることになりました。

労災保険、失業保険事務の委託について、当所では左記の方々のために奈良県知事の認可を受け失業保険、労災保険の一切を代行いたしておりますのでせいぜい御利用下さい。

一、失業保険、労災保険の加入手続のわからない方。

二、加入後の事務処理に不安のある方。

三、手不足のため事務処理に困っている方。

その他詳細については当所業務課（TEL㉓6075）までお問合わせ下さい（当所の労災保険事務組合とは）

中小企業者の加入促進と保険事務処理の簡素化のために当所では労災法第四章の三の規定により労災保険事務組合として本会議所の会員の委託を受けて事務代行することになりました。

中小企業相談所

問 **従業員の勤務成績を、正しく評価することは、労務管理の面からのみならず、労使関係を近代化するためにもきわめてたいせつなことと思いますが、その判定基準について**

答 勤務成績の判定は、昇任、転任、解任ばかりではなく、賃金管理の面からもたいせつであります。したがってこれの適用は単に機械的に行なうのでなく職務（仕事の内容、系列）をじゅうぶんに分析した後、従業員の適正配置を完全にし公正を期して行なわなければならない。

次に、中小工場と商店向けのモデル的な勤務成績判定表を示してみましょう。

職務分析表

職種 ＼ 順位および重さ ／ 判定項目	事務者 順位	事務者 重さ	（係長、職長） 順位	（係長、職長） 重さ
1. 仕事量および質	1	2 ½	4	1 ½
2. 知能および順応性	2	1 ½	1	2
3. 現業に対する一般価値	5	1 ½	6	1
4. 対人関係	6	1	3	1 ½
5. 指導的能力	7	½	2	2
6. 身体的条件	4	1 ½	7	1
7. 勤怠状態	3	1 ½	5	1
計		10		10

中小工場の勤務成績判定表（例）

給与

実務判定用紙

姓名＿＿＿＿＿＿

勤続年数（当部に）＿＿＿＿＿＿（現職に）＿＿＿＿＿＿

役名＿＿＿＿＿＿

部課名＿＿＿＿＿＿

判定項目	評語	評点	換算点数	摘要
仕事量および質 几帳面、慎重さ、正確、作業量	最優	10		
	優	8		
	中	6		
	劣	4		
	最劣	2		
知能および順応性 物覚えのよさ、指図に対する理解力、環境に対する順応力	最優	10		
	優	8		
	中	6		
	劣	4		
	最劣	2		
一般価値 職務上の知識、経験　成果をうる能力	最優	10		
	優	8		
	中	6		
	劣	4		
	最劣	2		
対人関係 責任感、協力に応じうる能力誠意	最優	10		
	優	8		
	中	6		
	劣	4		
	最劣	2		
指導的能力 人を働かす能力果断、自信	最優	10		
	優	8		
	中	6		
	劣	4		
	最劣	2		
身体的条件 体格、精力、耐久力	最優	10		
	優	8		
	中	6		
	劣	4		
	最劣	2		
勤怠状態 過去4ヶ年間の欠勤日数、ならびに遅刻早退度数	最優	10		
	優	8		
	中	6		
	劣	4		
	最劣	2		

判定者＿＿＿＿　役名＿＿＿＿　月日＿＿＿＿

検閲者＿＿＿＿　役名＿＿＿＿

商店の勤務成績判定表（例）

勤務成績判定表

等級	要素	重み	（観察項目）
1級（在店）一年	勤怠	25点	出勤状態を見る
	努力	25	熱心さ、進歩がある
	まじめさ	20	幹部の命令を守り、他も協調する
	正確さ	15	まちがいのない仕事振り
	仕事の早さ	15	てきぱきと仕事をやる
2～3級	仕事の成果	30点	正確にてきぱきと能率を上げる
	熱意	20	仕事に対する責任感と努力
	まじめさ	20	
	協調性	20	協調する能力
	仕事の知識	10	受持の仕事に対する知識の場合
4～5～6級	仕事の知識	25点	
	処理能力	20	仕事を自主的に処理する能力
	理解力	10	判断力、それを仕事を生かす能力
	まじめさ	10	
	独創力	10	創意くふうの力
	指導力	10	公平でかつ統率力がある

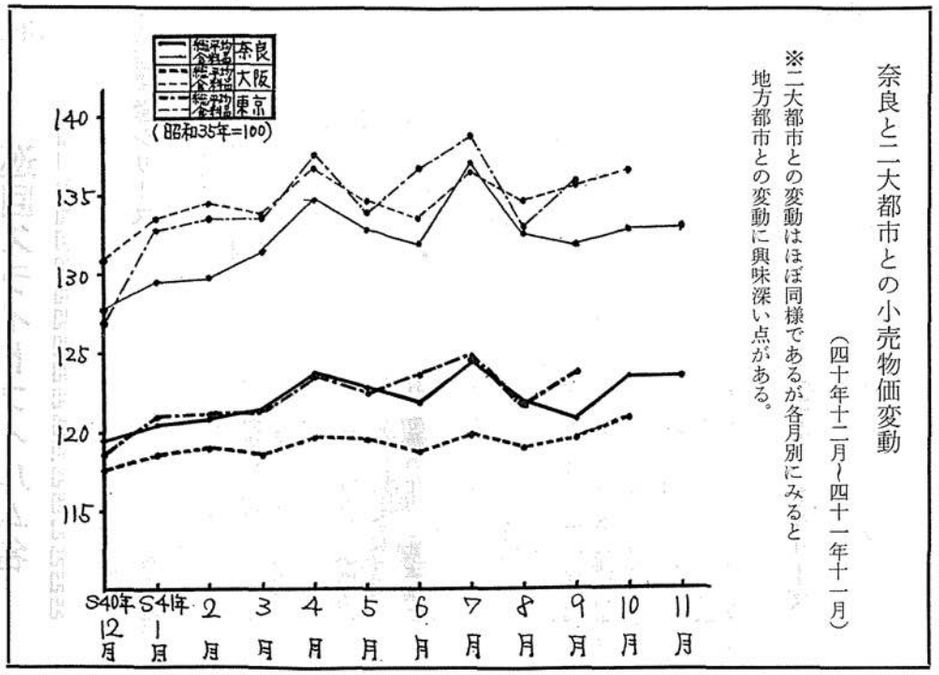
奈良市小売物価動向表

品目＼地域別＼月別		40年 12月	41年 1月	〃 2月	〃 3月	〃 4月	〃 5月	〃 6月	〃 7月	〃 8月	〃 9月	〃 10月	〃 11月	
総平均	奈良	119.4	120.3	120.7	121.3	123.6	122.8	121.9	124.3	121.8	120.6	123.3	123.3	
	大阪	117.4	118.4	118.9	118.4	119.5	119.2	118.6	119.9	118.9	119.5	120.7		
	東京	118.3	120.8	120.9	121.2	123.5	122.4	123.6	124.4	121.6	123.6			
食料品	奈良	127.5	129.4	129.8	131.1	134.7	132.6	131.6	136.9	132.1	131.5	132.2	132.6	
	大阪	130.9	133.3	134.3	133.8	136.4	134.6	133.2	136.1	134.6	135.5	136.2		
	東京	126.8	132.7	133.2	133.5	137.1	133.8	136.5	138.6	132.6	135.7			
穀類	奈良	132.9	142.0	142.1	142.1	142.2	142.2	143.6	143.6	143.6	142.2	143.8	143.8	
	大阪	139.2	147.3	147.3	147.3	147.3	147.3	147.3	147.3	149.4	149.4	149.4		
	東京	132.9	142.1	142.1	142.1	142.1	142.1	142.1	142.1	142.1	142.1			
粉、粉製品	奈良	123.6	123.6	123.6	123.6	123.6	123.6	123.6	123.6	123.6	123.6	123.6	123.6	
	大阪	145.2	145.9	145.9	145.9	145.9	145.9	145.9	145.9	145.9	145.9	145.9		
	東京	116.9	116.9	116.9	116.2	116.9	116.9	116.9	116.9	116.9	116.9			
野菜	奈良	155.7	163.2	177.6	201.1	243.3	247.0	164.5	158.3	150.2	162.4	187.8	180.4	
	大阪	152.9	161.5	168.8	162.1	221.1	196.9	184.1	172.2	148.0	168.9	192.9		
	東京	139.0	191.7	209.6	200.0	275.7	217.8	241.0	227.6	172.4	229.1			
果物	奈良	105.7	109.4	115.3	133.7	128.1	129.4	174.0	303.2	132.5	146.5	145.4	105.7	
	大阪	120.3	122.7	130.5	141.2	148.6	135.9	111.8	249.5	179.3	236.4	201.3		
	東京	146.6	161.2	162.0	175.5	156.3	150.2	187.5	284.8	196.8	159.4			
鮮魚	奈良	207.2	173.5	164.5	157.0	143.1	138.4	159.9	187.5	207.9	180.6	160.1	203.0	
	大阪	198.7	195.9	199.2	192.5	194.4	182.8	173.2	180.7	196.8	162.1	176.9		
	東京	252.7	275.5	257.6	274.3	273.5	273.9	284.9	304.5	280.3	290.0			
乾物	奈良	170.8	170.8	170.8	170.8	172.5	172.5	172.5	172.5	172.5	172.5	172.5	172.5	
	大阪	139.7	139.1	139.6	139.9	139.9	139.9	139.9	139.9	139.9	139.9	139.9		
	東京	186.7	138.7	144.5	146.5	151.8	151.8	153.6	160.6	162.7	162.7			
畜産食品	奈良	134.3	135.6	136.8	134.4	141.2	138.9	139.4	138.9	145.5	145.2	150.2	149.2	
	大阪	128.4	127.6	133.1	130.5	130.5	129.5	130.0	127.9	127.2	127.7	128.5		
	東京	137.9	137.3	135.6	132.2	131.6	130.7	131.5	131.0	130.7	131.6			
調味料	奈良	118.9	118.9	116.7	116.7	116.7	116.7	116.7	116.7	116.7	116.7	116.7	116.7	
	大阪	117.7	177.7	117.7	117.4	117.4	117.4	117.4	117.4	117.4	117.4	117.4		
	東京	120.7	120.7	120.1	120.1	119.7	119.7	119.7	119.7	119.7	119.7			
加工食品	奈良	133.0	133.0	133.0	133.0	133.0	133.0	133.0	133.0	133.0	133.0	133.0	133.0	
	大阪	154.9	154.9	154.9	154.9	154.9	154.9	154.9	154.9	155.7	155.6	155.5		
	東京	152.5	152.5	152.5	153.7	151.1	148.6	148.6	148.6	148.6	149.9			
菓子	奈良	110.9	110.9	110.9	110.9	110.9	110.9	110.9	110.9	110.9	110.9	110.9	110.9	
	大阪	123.6	123.6	123.6	123.6	123.8	123.6	123.6	123.4	123.0	123.0	123.0		
	東京	118.3	118.3	118.3	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0			
嗜好品	奈良	100.7	100.7	100.7	100.7	100.7	100.7	100.7	100.7	101.2	101.3	101.3	101.3	
	大阪	104.8	104.8	104.8	104.8	104.8	104.8	104.8	104.8	104.8	104.8	104.8		
	東京	103.1	103.1	103.1	103.1	103.1	103.1	103.1	103.1	103.2	103.2			
繊維品	奈良	113.9	114.3	114.3	114.3	117.3	117.3	114.4	112.3	112.2	106.0	120.5	120.1	
	大阪	106.4	106.4	106.4	105.4	105.4	107.1	107.0	107.0	105.1	106.1	109.7		
	東京	110.2	109.3	108.2	109.0	108.8	111.3	111.2	110.3	109.9	111.5			
建材家具	奈良	114.7	114.7	114.9	115.4	115.4	115.4	115.4	115.4	118.2	118.2	118.2	118.2	
	大阪	119.8	119.8	119.8	120.4	120.4	120.4	120.4	121.0	121.1	121.1	121.4		
	東京	119.2	119.3	119.6	119.8	122.8	124.4	124.4	124.4	124.5	128.1			
燃料	奈良	127.5	127.5	127.5	127.5	127.5	127.5	127.5	127.5	127.5	127.5	127.5	127.5	
	大阪	119.2	119.3	119.3	119.3	119.3	119.3	119.3	119.3	119.3	119.3	119.3		
	東京	122.7	123.0	122.4	121.9	121.4	119.5	117.6	116.7	116.7	116.7			
機械器具	奈良	91.1	91.1	91.1	91.1	91.1	91.1	91.1	91.1	91.1	91.1	91.1	91.1	
	大阪	95.8	95.8	95.8	95.8	95.8	95.8	95.7	95.7	95.6	95.7	95.7		
	東京	82.4	82.4	82.4	82.4	82.2	82.2	82.7	82.7	83.1	83.1			
雑品	奈良	116.0	115.3	115.9	115.9	116.0	117.1	117.3	117.6	116.8	116.8	117.1	116.9	
	大阪	111.5	111.4	111.8	111.6	111.6	111.6	111.6	112.2	112.0	112.5	112.8		
	東京	123.6	123.4	124.1	124.4	125.6	126.3	126.3	126.6	126.5	126.4			

〔注〕 此表は昭和三十五年を基準とした月別三都市比較小売物価指数で調査対象品目一九一を全国の会議所において毎月一斉実施されるもので、経済に敏感な二大都市を対比して一目瞭然興味深いものであります。

奈良と二大都市との小売物価変動

（四十年十二月～四十一年十一月）



※二大都市との変動はほぼ同様であるが各月別にみると地方都市との変動に興味深い点がある。

取照引会

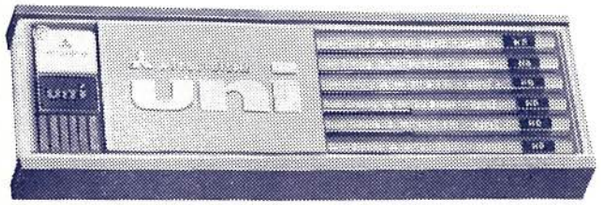
《売り希望》

外国缶詰 東京 盛華貿易㈲
袋物、ハンドバック、雑貨、化粧品 大阪 ㈱寺崎商事
新建材 東京 ゴトー電子工業㈱
花カッパ 東京 石塚株式会社
ナプキン兼用箸袋 広島 庄原商工会議所
鳥籠 熊本 テルコー商会
家具 大津 ㈱平井商会
寝具、旅行具 兵庫 ㈲木和田商店
建設機械 大阪 麓産業㈱
漆器類 福島 会津若松商工会議所
米国製ボールペン、イタリヤ製高級衣料品 東京 パンパシフィックジャパンリミッテッド
家具 新潟 燕商工会議所
自動車用クリーナー 京都 大洋精機㈱
書道用半紙 愛媛 伊予三島商工会議所
肉屋用刃物・畳糸 東京 ㈱横山商行
製菓、製パン原料 大阪 豊中商工会議所
アクセサリー、印鑑 山梨 ㈱第一宝石
糸鋸 名古屋 旭精機㈱
マット 日本輸出工芸敷物㈱
開先専用機ベベラー（ドイツ製） 大阪 藤本産業㈱
文庫紙 石川 八千代美術紙㈱
洋裁用具 埼玉 秩父商工会議所
壁掛 和歌山 奥野忠商店
モンブラン万年筆代理店 東京 ダイヤ貿易㈱
東京 岩井通商㈱
印刷機械 神戸 ド井手芸品㈱
手芸品 東京 三信商事㈱
黒板拭クリーナー

《買い希望》

経木さざ折り 千葉 木更津商工会議所
薬草 秋田 小松三之助商店
金魚（掬い取り用） 山口 丸信
鹿の角細工、焼杉、木目彫 北海道 一二三大行
既製レースカーテン 米子 中井ゴザ店
自動放水器 岡山県笠岡市 高原茂商店
奈良の名産人形 東京 レインボー通商
墨、筆 近江八幡 ㈱近江兄弟社
東京 ㈱ハリカ
蚊帳 松江 半田幸郎
家具 神戸 リッグスインコーポレイテッド神戸支店
花火（コメット） 京都 赤松元一
軍手 足利 足利商工会議所
ベビーサークル用蚊帳 清水 清水商工会議所
割箸 島根 大田商工会議所
線香、麺類 静岡 島田商工会議所
ゴルフボール 福岡 久留米商工会議所
慶弔贈答品 奈良 ㈱梅松園
スケート靴 長野 ㈲日本ニューロラースケート
トイレットペーパー 奈良 岡矢商店
靴下編機 和歌山 麻田竜一
スリッパ製造原料 長崎 日本旅行用品㈱
宮城 相沢 厳
掛軸 鹿児島 戸川竹材工業所
竹杓、竹割箸 和歌山 田中丈助
壁掛

＜ユニ＞は
■書きべりが少ない　■なめらかにすべる
■硬度が常に正かく　■軸木が削りやすい
このすべてを保障する鉛筆



9H－6B
17硬度・1ダース¥600

三菱鉛筆
MITUBISHI PENCIL. CO.

三菱ダイヤボールペン　¥30 ¥50 ¥100 ¥200 ¥300 ¥500
― ダイヤボールがすばらしい書き味をお約束 ―

〔紹介〕

巡回スライドフイルム名

○商店経営シリーズ

1 明日はどうなる?。
2 あなたの仕事に誇りを持とう。
3 売れているのになぜ儲からぬ。
4 軌道にのった繁栄。
5 新しい店舗。
6 強力店と競争するには。
7 ミッバチ戦術。
8 店員は何を求めているか。
9 ちょいと東京の人。
10 上手な販売、下手な販売。
11 乱売店も怖くない。
12 接客第一歩。
13 あなたの店ではやっていますか?。
14 サービスとは。
15 商品の顔、札の顔。
16 売掛金回収の秘訣。
17 売れる客層のつかみかた。
18 新人の育て方。
19 販売効率をあげるには。
20 上手なお客の応待法。
21 上手なお店の広告戦略。
22 経営改善への道。
23 お客は常に正しい。
24 販売値段は一つしかない。
25 お客は満足をかう。
26 商店における陳列と照明。
27 〃（最寄品の部）
28 新しい販売。
29 商店街活動。
30 接客サービスの向上。（上）
31 〃（下）
32 店員の傭入れと労働条件。
33 福祉施設と余暇善用。
34 包装の仕方。（基本編）
35 〃（応用編）
36 品質表示と販売促進。
37 商工会議所とは。
38 繁栄する商店街
39 店頭販売の秘訣（接客編）
40 これからの小売商店の生きる道
41 今日の店舗、明日の繁栄。
42 税金を怖れない経営。
43 貴方にも開かれている金融の窓口。
44 働きよい店、のびる店（新巻）

○工場経営シリーズ

1 カギは貴方が握っている。
2 楽しい職場を作るには。
3 ぼやぼやしちゃいられない。
4 やさしい複式簿記。
5 新しい人間関係。
6 人間関係のポイント
7 あなたもコストダウンが出来る。
8 我々は原価を作っている。（新巻）
9 下請企業の経営改善。（新巻）
10 売れる製品の作り方。（新巻）

○実務訓練関係

1 正しい電話の応接。
2 正しい受付と接待の仕方。
3 正しい態度。
4 積極性を伸ばすには。
5 命令の受け方、報告の仕方。
6 会議の開き方。
7 話し方の技術。
8 T・W・Iとは。
9 教え方の四段階。
10 人を協力させるには。
11 作業分析。
12 安全。
13 電話の心得。
14 停れ、見よ、そして訊ねよ。
15 職場のモラール。
16 新らしい労使の在り方。（新巻）
17 店員訓練。（新巻）

御申込は
当所業務課へ
電話㉓六〇七五（代）

経営改善のパトロール

★小規模事業の皆さん
商工会議所では市内の小規模事業者の経営および技術の改善のお役にたつため、無料で巡回して皆さん方のご相談に応じております。皆さん方より受けるご相談事項については、相談の機密を十分お守りいたしますから、何卒ご安心の上お気軽にご利用下さい。

★経営指導員とは
通産大臣より資格認定を受けた実務指導者で、何れも奈良商工会議所職員ですから、きっと皆さん方のご満足をいただけるものと思います。

★経営指導員の取扱う仕事
相談―生産、販売、労務、税務、金融など商工業一般
診断―お店や工場の経営状況を実地に診断し、今後の経営改善の指針をお教えします。
その他―小規模事業の皆さん方に必要な法律や市できめられた種々の手続きなどについてもご説明いたします。

★ご相談はすべて無料、お気軽に電話を……TEL㉓6075（代）

昭和四十一年十二月二十五日印刷
昭和四十二年一月一日発行
奈良市東向中町六
編集兼発行人　中村貞三
奈良市尼辻町一丁目五七七
印刷人　近東弘七
奈良市尼辻町一丁目五七七
印刷所　共同精版印刷株式会社
奈良市東向中町六
発行所　奈良商工会議所
電話奈良㉓六〇七五（代）

小山株式會社

一般寝具類、医療機関用基準寝具の賃貸

代表取締役　小　山　榮三郎

代表取締役　小　山　恭　二

本　　社　奈良市西木辻町88　電話(代表)㉒4321
営 業 所　札幌・仙台・東京・神奈川・富士・北陸・名古屋
奈良・大阪・岡山・広島・小倉・高知

日本染織工業株式会社

取締役社長　越　智　岩　太　郎

営　業　種　目

輸出・内需・綿・スフ・純毛・化(合)繊・麻蚊帳地その他の製織並に染色整理加工
A、製織(綿・スフ・純毛・化(合)繊・麻蚊帳地・服地・芯地・モスリン・その他)
B、染色(綿・スフ・純毛・化(合)繊・麻織物の染色整理加工「特に樹脂加工」)
キリンモスリン・キリンウール特1号)

本社 本社工場	奈良市油阪町105	電話奈良㉝4980・5751・5752 5753・5754
西大寺工場	奈良市西大寺町	電話奈良㉝5755・5756
京都商事部	京都市中京区蛸薬師通東洞院東入る	電話京都㉑3537・3538・3539
右同寝具部	京都市下京区富小路通5条下る	電話京都㉟3187・3214
大阪営業所	大阪市東区淡路町2丁目野口ビル	電話大阪(203)5908

各種自動車々体製造・修理・工作

奈良車体製造株式会社

代表取締役　小　玉　勲

奈良市油阪町三二八番地
電話(奈良)㉝四四〇一(代)～五

国内旅行及び海外旅行の御相談は
親切、迅速をモットーとする日通観光へ

通

奈良市油阪町一四
日本通運株式会社奈良支店
支店長　金　島　二　郎
電話奈良㉓一一六一(自)
一二二六八(代表)

事業種目
鉄道貨物、トラック輸送、倉庫事業、国際輸送、
航空、海運、港湾運送、観光業務

会社設立
記帳会計指導
企業経営コンサルタント

奈良商工会議所嘱託、大和経済倶楽部顧問

阪本税務会計事務所

所長
税理士 阪本祥嗣

事務所　奈良市東向中町八番地（前田ビル三階）
電話奈良（〇七四二）㉓四六四一番　所長直通
㉓四六四二番　事務所直通
㉓三五一一～二番　ビル交換

自宅　奈良市敷島町五四三番地の三二
電話奈良（〇七四二）㊺二一六六番